

杉並区議会議員

# 松本みつひろ

Vol.04

令和二年第一回定例会議  
杉並区議会レポート



## 松本みつひろ 一般質問

- ▼ 「#助けて多胎育児」杉並区の子育て支援の今後について
- ▼ 子どもの学びの未来。GIGAスクールネットワーク & PTA
- ▼ 国難・少子化食い止める！杉並区の取組
- ▼ 予算特別委員会 他

**Topic**  
子どもの学びの未来。  
GIGAスクールネットワーク & PTA

年末に政府が閣議決定したGIGAスクールネットワーク構想は、一人一台コンピュータを活用し、子どもの可能性を大きく広げていくという大きなビジョンを描いています。方向性に賛同する一方、杉並区でそれが行われる上で課題になりそうなのは早期に指摘しておく必要があると感じました。また同世代がPTA活動に参加し始める中で直面する課題についても、ITで解決できないか、また区として取り組む余地がないかを模索する観点で質問しました。

**松本**…杉並区はGIGAスクールネットワーク構想\*2に対応し、補助金を受けて環境整備を進めていく方針であるか。  
**教育次長**…ネットワークと端末機の購入についての補助金が予定されているうち、ネットワークについては平成29年度までに整備済み。一人一台端末の補助については、児童・生徒向けタブレットPCのリース業者が当該補助金を利用できるように調整を進める。

**松本**…一人一台コンピュータの体制になると、各学校に端末やシステムの管理を専任で担当する常駐スタッフが必要になると考えるが、検討状況は。  
**教育次長**…現段階では一人一台体制になった場合の支援体制や人材について検討していないが、学校における適正なICT環境を維持するための課題の一つと考えている。

**松本**…PTA活動に対する支援として、セキユリティ等のルールを見直し、ICTを活用して負荷の軽減に努めることを教委から提案すべきでは。  
**教育次長**…PTAは任意団体として自ら作成した規約・会則等に基づいて運営されている。個人情報等の取り扱い等セキユリティのルールについても各PTAの検討だが、教育委員会では参考となるハンドブックの配布や役員向けセミナー開催などの情報提供を行っており、今後も活動の支援に努める。



▶ 一般質問の様子

## Topic 国難・少子化食い止める！杉並区の取組

今年最初の一般質問なので、政治が取り組むべき最も大きな課題として少子化をテーマに選びました。不妊治療助成を巡って年末年始に多くのトピックスがあり、それらを紹介しながら、子どもを増やすための区の各種施策について、確認と提案をしました。

**松本**…杉並区総合計画・実行計画では、0歳人口をどのように推計し、実績はどうなっているか。

**政策経営部長**…0歳人口は平成31年以降減少に向かうものと予測していたが、平成31年1月の0歳児は4493人で、予測より160人多かった。

**松本**…「子ども子育て支援事業計画\*3」について、人口の予測と実績に乖離がある場合、計画値ではなく最新の実績に基づいた計画をすべきと考えるが見解は。  
**子ども家庭部長**…計画値としての将来人口推計の他、指摘のように最新の実績を含む実績の推移等を総合的に考慮し、各事業の量の見込みを算出している。

## Topic 「#助けて多胎育児」杉並区の子育て支援の今後について

東京都が多胎育児支援の新規事業を始めることを大々的に告知し、当事者の期待が膨らんでいましたが、事業の詳細が出ておらず、必ずしも区民が利用できるには限らない状況です。私自身、1歳の双子を育てており、当事者であるがゆえに質問で取り上げること躊躇したところがありました。その事実を明らかにする責務があるだろうと考え、質問に選びました。

**松本**…杉並区が運行している「すざ丸」に、双子用ベビーカーを押している人が乗車しようとした際の対応は。

**都市整備部長**…車内が混雑していない時は、ベビーカーを折り畳まずそのままご乗車いただくことが可能。混雑状況によっては、二人乗りベビーカーに限らず、事情を説明の上折り畳んでご乗車いただくこともある。

**松本**…東京都が来年度予算計上した「とうきょうママパパ応援事業\*1」の多胎児世帯に対する補助事業を、該当する区民が利用することは可能か。  
**子ども家庭部長**…今後東京都から補助要綱などの詳細が示された段階で、区内の多胎児家庭の支援としての有効性等を十分検討していく。補助要綱は例年6月頃示される。

**松本**…すこやか赤ちゃん訪問の場面で、区の子育て支援事業の登録作業を、一部でも同時に行うことができないか。

**子ども家庭部長**…すこやか赤ちゃん訪問では、専門職が母の心身の健康や、子どもの発育・発達を観察に加えて、育児状況の把握などを行い、相談・助言等を丁寧を実施している。個々の事業の登録手続きでは詳細な家庭状況や利用時の希望を聴く必要があり、別に対応することが適切。

**松本**…今後の多胎育児支援について、区の見解は。  
**子ども家庭部長**…多胎育児の支援を含む、今後の子育て支援施策・事業のあり方について、来年度から新たな基本構想等の議論を具体的に進めていくので、その中で区民等の多様な意見を聴きながら検討していく。

\*1 多胎児がいる世帯に対してはベビーカーや家事支援ヘルパーなどを利用する際の補助。また検診や予防接種などの移動にかかる経費の補助を行う事業で、都の予算額は2億円。2.子どもとひとひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けて一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する事業。国の令和元年度補正予算額は3.18億円。3.地域のニーズに応じた子育て支援の取組をより一層総合的に推進するための計画。平成29年度に策定され、31年度が最終となること。4.第2期計画を策定している。計画の基礎となる人口について、推計値が掲載されており、実績値については計画内に示されていない。  
\*その他、「仮称」萩生五丁目公園の整備について「橋梁型社会の形成に向けて」という内容で質問を行いました。質問の全文は松本みつひろホームページをご参照下さい。



\*2 \*3 の詳細につきましては、表紙【#助けて多胎育児】杉並区の子育て支援の今後について】の文末に記載しています。

最新情報はSNSで発信し続けています。フォローいただけると幸いです。



行政に関するお困りごとを、一緒に解決していければと思います。ぜひ松本みつひろにお声がけください。

松本みつひろ事務所 〒167-0051 杉並区荻窪4-21-8-301  
matsumoto@suginami-kugikai.jp / 080-4327-7767